

SWPBS 7月のキャンペーンにおける手立て例

「1分前着席」をさせるための手立てについて例示しております。ぜひ、この中からご自身のクラスの実態に合った手立てをとって、1分前着席の指導としていただけたら…と思います。もちろん、ご自身のやり方で取り組まれても構いません。7月5日（月）業間にスライドで、児童へのよびかけをします。その後のキャンペーン中は、ぜひ、児童への称賛（ポジティブな行動支援）をお願いします。

○ 授業の1分前に児童を着席させるための手立て

環境の工夫・教師からの直接的な手立て

- ① 教師が○分前に教壇に立つ。（担任が時間を守る）
- ② 次の用意ができているか、教師が1分前に声をかける。
- ③ 時計を見て行動するよう、教師が全体に声をかける。
- ④ チャイムは必ず着席した状態で聞くように指導している。
- ⑤ 『座っている人は時計をよく見れているね』というような言葉かけで着席を促す。

ポジティブな声かけ
だと、さらに効果が
上がります。

環境の工夫・児童を主とする手立て

- ⑥ 1分前を呼びかける係（児童）をつくっている。（タイマー・ベル・声かけ）
- ⑦ 日直の仕事の中に『1分前の呼びかけ』が入っている。
- ⑧ 気付いた児童に『1分前だよ』と声をかけるよう呼びかけている。

呼びかけてくれた人には『ありがとう』と伝えている。

- ⑨ 学習係（児童）が、2分前にミニプリントを配り、取り組ませている。
- ⑩ 1分前には教科書やノートを見て、復習・予習を行うように指導している。